

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	倉敷市立福田中学校	実践者名	小坂 壮平
教科等	技術・家庭科	学年	第1学年
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 3
育成したい 資質・能力	思考力・判断力・表現力等		
単元・内容等	三匹のこぶたを通して木材などの材料の特性を知ろう		
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	中学校での端末利用は、導入授業が終わったばかりで2回目であるが、小学校から使い慣れている様子を感じられた。		
活用の概要 (使用アプリ名を含む)			
<p>(1) アンケートを回答する。</p> <p>「三匹のこぶた」を導入に用いて、わらの家、木の家、レンガの家のうち、どの家に住みたいかをロイロノート・スクールのアンケート機能を用いて行った。生徒は予想通り、レンガの家が突出して多く、理由として、「おしゃれ」「頑丈」などを挙げていた。</p>			
<p>(2) シンキングツールに入力された情報を整理・比較・分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 3種の家の長所と短所についてテキストカードの色を指定し、シンキングツールを用いて生徒が考える。 自身の考えを分類するだけでなく、回答共有利用し、他者の考えを取り入れることで、情報を整理・比較・分析する。 日本の家は木材が多いこと、日本の気候の特徴などをやり取りする。 「日本の家は木材が多い。その理由を考えよう」という「問い」から、既存の知識及び教科書等を活用し、自分の考えをロイロノート・スクールでまとめる。 木材を触れ、特徴（触覚・視覚・嗅覚など）から、木材は「軽い」「風通しが良い」などのポイントに気付く。 			
<p>(3) 学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本は地震が多いこと・鍋敷きが木材であること・日本の国土の多くが山地であるという3つのキーワードをもとに、日本の文化と木材についてまとめる。 再度、どの家に住みたいかのアンケートを行う。 			
実践者の手ごたえ		児童生徒の振り返りや反応等	
<p>これまでの授業ではロイロノート・スクールを教師がスライドとして使い、生徒の支援のために使うことが多かったが、本時の学習では、Yチャートやアンケート機能などを有効に利用し、探究的な学習を行うことができた。</p>		<p>(生徒の様子)</p> <p>授業の導入と終末時に同じアンケートを行い、教師も生徒も他者の思考の変容を分かりやすく感じることができた。また、Yチャートを利用し、わら・木材・レンガの特性を分類するとともに、他者の考えを取り入れて自身の思考の再構築も出来ていた。</p>	